

# 法然上人二十五霊場巡拝

法然上人、四国配流の足跡をたどる！  
瀬戸内海を渡り、第2番 法然寺へ

御詠歌奉納と

お念

仏の2日間

期日、旅程等は中をご覧ください。

お問い合わせは

## 参拝寺院

### 法然寺(第2番霊場)

法然上人が建永2年(1207)75才のとき、流罪をうけて、逗留されたのがこの地である。はじめ法然上人は小松庄正福寺におられたが、上人許されて 帰京された後、その寺が炎上したために寛文年間(1661~1673)に、高松藩の松平頼重公が、上人縁りの寺の荒廃をなげき、仏生山の地に再建したものである。法然上人が塩飽島に着いた際、波の上の岩頭に立たれているお姿を表した「波乗りの法然上人像」が安置してある。山上には法然上人をまつる御廟、檀下に来迎堂、そしてねはん堂には、珍しい寝釈迦がある。

浄土宗HPより



## 西念寺

法然上人の御遺跡に建立された名刹である。寺伝によると建永2年(1207)の法難によって讃岐国小松庄生福寺に遷された法然上人は土器川の東にあるこの丘陵地の風光が京都の東山に似ているのをめでられて、この地に草庵を営み念仏の教を説いて老若男女を教化されました。

寛文8年(1668)高松藩主松平頼重公は、この古寺を仏生山に移して法然寺と称し、その跡地に四条の真福寺を移し、その後丸亀の中津から西念寺を移し寺の維持のために寺田三反余を寄進された。新黒谷と呼ばれた西念寺の寺地には法然廟があり寺の境内には立華の名松が聳えている。

まんのう町教委等 設置看板より



## 専称寺

建永2年(1207)開祖である法然上人が法難に遭い、四国配流の途中、関白九条兼実公の領地であったここ塩飽本島に立ち寄り寓居した地に建つ。

極楽も かくやあるらん あらたのし はや参らばや 南無阿弥陀仏

という御歌は、この地で上人の教化により、島中がお念仏の声に包まれた時に詠まれた、とされている。



## 来迎寺

建永2年(1207)法然上人がこの地に逗留された旧跡。

本尊阿弥陀如来立像は慈覚大師の作である。



山門



境内より瀬戸内海を臨む

## 旅 程 表

第 1 日		第 2 日	
<b>羽 田</b>	9 : 30 発	<b>琴 平</b>	8 : 00 発
	ANA		マイクロバス
<b>高 松</b> ( 空港 )	10 : 45 着 11 : 30 発	<b>児 島</b>	9 : 30 発
	マイクロバス		船
	昼 食	<b>塩 飽</b>	10 : 00 着
	マイクロバス		<b>専称寺</b>
	13 : 00 着		<b>来迎寺</b>
② <b>法然寺</b>	14 : 00 発	<b>塩 飽</b>	12 : 35 発
	マイクロバス		船(フェリー)
	15 : 00 着	<b>丸 亀</b>	13 : 05 着
<b>西念寺</b>	16 : 00 発		マイクロバス 途中、高松 市内散策
	マイクロバス	<b>高 松</b> ( 空港 )	17 : 05 発
<b>琴 平</b>	16 : 30 着		ANA
宿 泊		<b>羽 田</b>	18 : 25 着

※ 諸事情により、行程が変更になることがあります。正式な行程表は参加者にお渡しします。

定員 20 名 ( 最少催行人数 10名 )

申込期間内でも定員になりしだい、期日前でも閉め切ります。

申込期限 平成29年1月末日